
「若いもんには負けん！」 ～徳島市老連「阿波踊り」～

昨年、高齢者の健康づくりや閉じこもり予防を目的として結成された、徳島市老人クラブ連合会（会長：細井啓造）の阿波踊り連「徳島市老連」は、先の中四国ブロック老人クラブリーダー研修会（7/5～6）で、息のあった若々しい踊りを披露してくれましたが、その本番と言えるものが徳島市の阿波踊りです。



徳島市の阿波踊りは8月12日から4日間にわたり、徳島市内各所に設けられた演舞場を中心に、あちこちで各連（阿波踊りの一つのグループ）による「阿波踊り」が披露され、期間中約130万人の人出で街全体が熱気に包まれます。

徳島市老連は、初日の12日及び最終日の15日に登場、12日は四国電力徳島支店の中庭に設置された「よんでんあわおどり広場」で、また15日は演舞場の中でも、阿波踊りを間近に見物でき、踊り子と観客の一体感が味わえる「両国本町演舞場」での出演となりました。

両国本町演舞場は、市内7ヶ所の演舞場の中でも最長となる約170mにも及ぶものであったので、体力面が心配されましたが、踊り手、鳴り物共々、見物客から大きな声援を受けながら、高齢者とは思えないはつらつとした踊りを最後まで披露していました。

踊り終えた会員の方々は、汗いっぱいでしたが、その表情は明るく、達成感に溢れていました。

